社会資本総合整備計画 事後評価書

711.2	(具 4 松 口 2	仓佣司 一	₹												
計画の	名称 災害に強い	交通ネットワークを形成し、物資の	D供給及び救援活動を円滑にするため	の主要道路整備の推進											
計画の類	期間 平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間) 重点配分対象の該当								分対象の該当						
交付丸	象 焼津市														
計画の	標 地震時から	発生する救助活動や物資の輸送等を	E円滑に行うため、移動しやすい交通	ネットワークを形成し、主	ヒ要な道路整備を行い災害に強	いまちづくりを目指す。									
全体事	業費(百万円)	合計 (A+B+C+D)	38 A	12 B	26 C	0 D	0 効果仍	遅進事業費の割合C/(A+B-	- C + D) 0 %						
				計	画の成果目標(定量的指標)										
巫口							定量的指標の現況値及び目標値								
番号			定量的指標の定義		当初現況値	中間目標値	最終目標値								
					(H24年度)	(H28末)	(H30末)								
1	焼津市は災害	の備えができているまちであると思	思っている人の割合												
	焼津市は災害	の備えができているまちであると思	思っている人の割合(%)※焼津市市	民満足度調査による。			47%	%	57%						
2		の備えができているまちであると思					1								
	生活道路の整備が進み、車やバイクで移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合(%)※焼津市市民満足度調査による。 45% % 45%														
							1								
							1								
			備考等			個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	ー 定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む -						
	<u></u>			<u> </u>											

1

案件番号: 0000166776

A 基幹事業	Τ	事業	地域	交付	直接		Τ		要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	車業:	主施申	月間 (年	:连)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接		種別 1	種別2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H26 H	127 日	128 H2	H30			策定状況
坐打事术 (八)	H . J					<u> </u> される効果			(事米回///)	(定义 固慎寸)		1120 11	121 111	120 112	7 1100	(円/111)	IX:III.PU	JRAC TOTAL
		備考	JCHE 9 18	0 0 0 10 0	. 7 //11/1	C 1 (10 //J/K												
道路事業		道路	一般	焼津市	直接	焼津市	市町村	改築	(2) 市道横須賀上小田	現道拡幅 L=0.30 k m	焼津市					12		未策定
224 7/20	A01-001	~	122	/// 11 /1-		/// //-	道		線	D OF CORE	7,5611 7,1			_  -		12		710100
			1		1	1	ı											1
											小計					12		
				Г						1								
											合計					12		
			1		1		1		T	T	1				1			T
			T		T							T						
			•		•	1										1		1
			_			_												_
			1		1	T	1		T	T		1 1				Г		T
L																		

案件番号: 0000166776

B 関連社会資本整備	事業																	
		事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/				(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別				1至月1	1年月17 亿	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H26	H27	H28	H29 H30	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																
		備考	1	I	1	Trest r				I	Trest t							
道路事業	B01-001	河川	一般	焼津市	直接	焼津市	_	_	(準用河川) 一色・横須 賀川	河川改修 L=0.05km	焼津市	-				26		_
		<b>道路整備</b>	<u> </u> 情が一体と	  なって洹	    改修	 を行うことで	 -	<u> </u> を生み出		 い道路改良が可能となり効率	 区的な整備が期待さ;	 れる。						
		XZPIII.	道路整備が一体となって河川改修を行うことで道路用地を生み出すことにより買収を伴わない道路改良が可能となり効率的な整備が期待される。															
											小計					26		
											3 81					20		
											合計					26		
				I				ı		1								
																		_
				Ι		1			T	T								
				I	1		1		T	T	1							
			1		T	T	Ι		I									
		-																

案件番号: 0000166776

事後評価						
<ul><li>□ 事後評価の実施体制、実施時期</li></ul>						
事後評価の実施体制、実施時期事後評価の実施体制		事後評価の実施時期				
		令和元年度				
委員会は5人以内の委員で組織する。 委員は学識経験者や市民のうちから、	市長が委嘱する。					
		公表の方法				
		市ホームページ				
○事業効果の発現状況						
	道路拡幅に伴い、災害時における救援活動時	や生活道路における車やバイクなど、車両の円滑な通行を確保することができた。 が伴わない道路拡幅工事を行うことができた。				
	何川以修により垣昭用地で碓床し、用地負収/ 	パーインなく、但時が帰土争で1. プロログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・				
定量的指標に関連する						
交付対象事業の効果の発現状況						
	このはないできます しょしゅ おはなしゅく					
	河川改修を行ったことにより、整備前よりも打	非水能力が上昇し宿水女宝度が向上した。				
定量的指標以外の交付対象事業の						
効果の発現状況(必要に応じて記述)						
  ○特記事項(今後の方針等)						
「焼津市国土強靭化計画」に位置付け	けられた整備が必要な道路施設についても、社会	会資本整備総合交付金事業を活用するなど、今後も災害に強いネットワークの形成				
を推進していく。						

○目7	標値の達		
平口	指標(略	<b>S</b> 称)	
	口你吧/	大帜吧	目標値と実績値に差が出た要因
	焼津市は	災害への備えができて	いるまちであると思っている人の割合(%)
1	最 終 目標値	57%	
	天积旭	62%	
	生活道路	の整備が進み、車やバ	イクで移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合(%)
2	最 終 目標値	46%	
	最終 実績値	50%	